

ありむら国俊



Evolving SHIGA

未来へと幸せが続く、「日本一の滋賀」を創る!

世界に先駆けて人口減少・超高齢社会に突入した私たちは、同時に、人生100年時代と言われる長寿社会の到来、あらゆる産業や社会生活を変え得る第4次産業革命と呼ばれる飛躍的な技術革新、世界的な脱炭素化社会の進展など、非常に大きな変化に直面しています。私たちを取り巻く経済、社会、環境の変化は、世界がこれまでに経験したことのないものとなるでしょう。

古くから交通の要衝であり、今も多くの人の往来がある滋賀は、外部から新しい風を取り入れることにより、滋賀の文化を守りつつも、時代に応じて変化し続けることによって発展してきました。また、経済成長と環境保全の両立に官民挙げて取り組み、自分たちの力で地域を良くしてきた経験を持っています。

世の中の変化が大きく、人々の価値観も多様化する中において、一人ひとりが幸せを感じるためには、今直面している未知の変化にひるむことなく、先人の知恵や経験を生かしながら、時代に合わせてしなやかに変わり続ける必要があるのではないのでしょうか。

私たちは、経済、社会、環境のバランスが取れていて、将来世代も含めた誰もが豊かさを感じながら、一人ひとりが尊重され自分らしく生きることができる、「未来へと幸せが続く滋賀」を、みんなの力でつくりたいと思います。



あり!のままの。

滋賀県竜王工業団地は、現在滋賀県で唯一の大規模新設工業団地です。



工業団地の概要

所在地：蒲生郡竜王町大字岡屋
 事業主体：滋賀県土地開発公社
 総面積：545,918㎡
 分譲面積：309,461㎡(7区画)
 アクセス：竜王ICから1.5km

売却状況(売却済み区画)

区画	契約者	主な製品	契約日
2	エリーパワー(株)	リチウムイオン電池	H29.12.18
3	東洋電機製造(株)	産業用モーター、インバーター等	H29.2.13
4	SMC(株)	空圧制御機器	H30.5.9
7	サクラ食品工業(株)	コーヒーシュガー、希釈飲料等	H30.12.3

売却面積 213,490.25㎡ (全体の69.0%)
 売却金額 67億8,884万6千円 (全体の67.6%)

滋賀竜王工業団地

ありむら国俊と日本一の滋賀を創ろう!

ぜひお越しください。お待ちしております。

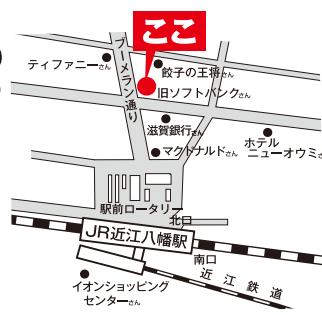
県政報告会(開設式)

本日3月9日(土)

午後2時~(約1時間)

●ところ
 近江八幡市鷹飼町 1510 (旧ソフトバンク)

- ゲスト(予定)
- 滋賀県知事 三日月 大造
 - 近江八幡市長 小西 理
 - 竜王町長 西田 秀治
 - 衆議院議員 小寺 ひろお
 - 参議院議員 へのゆ 武史
 - 参議院議員 こやり 隆史
 - 滋賀県議会議員 高木 健三



この度のプロジェクトを進めていく過程において、現在の第266代フランシスコ・ローマ教皇や、バチカン市国の美術館関係者に滋賀県へお越し頂き、「安土山屏風」探索の機運を伝えることができ、探索の糸口が見つかれば今回のプロジェクトの推進により一層弾みがつくと考え県議会で提案しました。私にとって最も大切な願いは、「幻の安土城」復元プロジェクトが、長く続く安土の活性化へと繋げていくために、若い世代特に子どもたちに関心を持ってもらい、将来の安土を盛り上げる担い手に育ってもらおう事です。



443年の時を経て、往時の夢とロマンを現実のものとするタイミングがやってきました。全国的に想像以上の手応えがある安土城復元のために、地元議員としても地域の皆様と本腰を入れて、各方面の関係者と復元の方向性・方法を検討し、諸課題を乗り越えて全国から寄付を募り目的達成のために全力で邁進したいと決意しています。

安土城の復元

滋賀県東近江市土木事務所管轄による近江八幡市・竜王町内事業

河川砂防主要事業

H30年度見込み・H31年度予定

No	路線名	工区	コメント
1	日野川広域河川改修事業 ※補助事業	古川町・緑町・川原町・池田本町・上野町・篠原町/河道拡幅	・古川橋上流の掘削、護岸および古川橋脚補強工事を複数工区により実施中 工期(掘削):H30/8/10~H31/2/28 工期(掘削、護岸):H30/10/3~H31/6/28 工期(右岸橋脚):H30/12/14~H31/7/31 工期(左岸橋脚):H30/12/18~H31/7/31 ・H31年度は、掘削、護岸および桐原橋脚補強工事を複数工区により実施予定 ・JR橋架替については、国やJRと協議を進めており、H31年度からH32年度にかけて、JRに詳細設計を委託する予定
2	長命寺川広域河川改修事業(長命寺川工区) ※補助事業	島町・中之庄町/内水排除 白王町/河道拡幅	・善光寺川合流点より上流については、整備を実施するために必要な河川整備計画の変更作業を進めるため、佐久良川合流点までの区間において航空測量(単独費)を実施中 工期:H30/12/12~H31/5/31 ・H31年度からH32年度にかけて、河道概略検討業務(単独費)を実施予定
3	長命寺川広域河川改修事業(蛇砂川工区)※補助事業	西生来町/河道拡幅	・島町・中之庄町の内水排除ポンプ場について、H30年9月末に課題を整理検討する業務を完了。ポンプ操作を地元で委託できるかどうかについて、地元4町(島、白王、中之庄、北津田)と協議中 ・白王町の河道拡幅(右岸築堤)について、伊庭川線道路改良事業と併せて詳細設計を実施中 工期:H30/9/28~H31/2/28
4	西の湖河川浄化事業 ※補助事業	安土町常楽寺/浚渫土撤出	No 9 円山2地区急傾斜地崩壊対策事業 ※補助事業 円山町/急傾斜地崩壊対策
5	三明川河川改良事業 ※単独事業	近江八幡市街地/総合治水対策検討	No 10 沖島2地区急傾斜地崩壊対策事業 ※補助事業 沖島町/急傾斜地崩壊対策
6	日野川河川改良事業 ※単独事業	馬淵学区/堤防強化	No 11 【再掲】日野川広域河川改修事業 ※補助事業 善光寺川合流点~佐久良川合流点/河川整備計画変更
7	堂川通常砂防事業 ※補助事業	島町/堰堤工・渓流保全工	No 12 日野川河川改良事業 ※単独事業 竜王町/堤防強化
8	長命寺川支流単独砂防事業 ※単独事業	島町/管理用通路	No 13 祖父川河川改良事業 ※単独事業 竜王町/堤防強化
			No 14 広谷川単独砂防事業 ※単独事業 薬師/渓流保全工

道路主要事業

H30年度見込み・H31年度予定

No	路線名	工区	コメント
1	大津能登川長浜線 ※ A P 2018 継続事業	安土/バイパス	・H30.9月腰越峠の道路構造について文化財と協議 ・H30.12月現道とBPの接続箇所(安土川沿)の地形測量を発注、年度内完了予定 ・H31腰越峠の道路構造について再検討に入る予定(関電の鉄塔が本当に移設できないのか等)
2	大津守山近江八幡線 ※ A P 2018 前期着手	中部湖東幹線/バイパス	・H30.9月に岡山、北里学区、10月に関係自治会(大房、牧、水釜、本水釜、野村、小田)へ都市計画道路の変更申請について説明会を実施 ・12月近江八幡市都市計画審議会、1月野洲市都市計画審議会、2月県都市計画審議会に諮る予定 ・H31地形測量に着手予定(H32以降、測量結果を用いて予備設計を発注し、地元説明会等で頂いた意見について対応を検討)
3	近江八幡竜王線 ※ A P 2018 継続事業	岩倉/バイパス	・H30では、道路予備設計(B)で道路のルートを決定的に、千僧供町で影響するかもしれない文化財の事前調査のための耕作者の同意が得られるよう関係者のご意見を伺いながら進める
4	大津能登川長浜線 ※ A P 2018 継続事業	西庄/歩道	No 11 綾戸東川線 ※ A P 対象外・補助事業 駕輿丁/歩道拡幅
5	大房東横関線 ※ A P 2018 継続事業	若宮~東横関/歩道	No 12 国道477号 ※ A P 対象外・補助事業 鏡/現道拡幅
6	大房東横関線 ※単独費	大房/歩道	No 13 彦根八日市甲西線 ※ A P 2018 前期着手 山之上/交差点改良
7	小脇西生来線 ※ A P 2018 前期着手	内野/歩道	No 14 春日竜王線 ※ A P 対象外・単独事業 薬師/歩道
8	安土停車場桑実寺本堂線 ※ A P に該当しない事業	上豊浦/歩道	No 15 国道477号 ※ A P 2018 前期着手 山之上/歩道
9	近江八幡大津線 ※ピワイチ事業・補助事業	岡山/歩道	No 16 国道477号 ※ A P 対象外・補助事業 西横関/交差点改良
10	彦根近江八幡線 ※ピワイチ事業・単独事業	津田/路肩拡幅	No 17 春日竜王線 ※橋梁修繕・補助事業 鷺川橋/橋梁修繕



豚コレラ対策 有村発案の意見書

今年2月6日に愛知県で見つかった豚コレラに感染した豚の移動が本県を含む4府県で確認されました。感染拡大の防止のための意見書です。

豚コレラ対策の強化を求める意見書(案)

本年2月6日、愛知県の農場から豚コレラに感染した豚の移動があった本県を含む4府県の農場において、豚コレラの発生が確認された。本県では、連日中に対策本部を設置して対応に当たっており、周辺府県や関係団体等の協力を得ながら、感染防止、全豚の検査および感染豚への殺処分等の対応を進めている。

国内のみならず、世界の様々な国とつながる現代社会においては、豚コレラが本県に発生するリスクが高まっており、野生イノシシの感染拡大や農場への感染防止のため、早期の発生検出への体制やより効果的な対策の推進が必要不可欠である。

よって、国および県において、豚コレラの感染拡大の防止に向け、下記の施策を講じられるよう求める。

1. 大規模農場での発生や同時多発型においても適切な防疫措置を可能とするため、都府県においての獣医師の確保や技術向上に対する支援を拡充すること。また、豚コレラの発生時に、迅速に検査体制から獣医師を確保できるような体制づくりおよび防疫作業に係る資材の供給体制の確保を推進すること。
2. 野生イノシシによる感染拡大防止対策を含め、県および市町村が行う豚コレラ対策に関する経費への支援の拡充を図ること。
3. 近隣国で発生している家畜感染症の侵入防止のため、検疫体制の強化を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成33年 月 日
滋賀県農林部長 川島 隆二

滋賀県議会議長 川島 隆二
滋賀県議会議長 川島 隆二
滋賀県議会議長 川島 隆二
滋賀県議会議長 川島 隆二
滋賀県議会議長 川島 隆二
滋賀県議会議長 川島 隆二
滋賀県議会議長 川島 隆二
滋賀県議会議長 川島 隆二
滋賀県議会議長 川島 隆二
滋賀県議会議長 川島 隆二

農山村の活性化(やまの健康)を推進します

・企業や大学など、多様な主体と連携し、地域資源を活用した農泊を推進
・獣害を受けにくい伝統的作物を再生し、試験的に直売・民宿等で提供

○農山村の活性化(やまの健康)を推進します

・企業や大学など、多様な主体と連携し、地域資源を活用した農泊を推進
・獣害を受けにくい伝統的作物を再生し、試験的に直売・民宿等で提供

○農山村の活性化(やまの健康)を推進します

・企業や大学など、多様な主体と連携し、地域資源を活用した農泊を推進
・獣害を受けにくい伝統的作物を再生し、試験的に直売・民宿等で提供



東近江地域干拓協議会の皆様と近畿農政局長に陳情。

農政課題に関するありむら国俊の取り組み

○近江米、特に「みずかがみの生産を引き続き振興します」
・みずかがみの生産拡大と収量安定技術の実践を支援
・品質・食味の良い「プレミアムみずかがみ」の集荷業者の取り組みを支援

○環境にこだわり農業のさらなる推進を図ります
・環境にこだわり米コシヒカリの集荷・流通促進と高付加価値販売の取り組みを支援
・オーガニック米・魚のゆりかご水田米の生産拡大を支援
・(H31・3次期)環境にこだわり農業推進基本計画(策定予定)

○野菜など園芸作物の作付拡大を図ります
・園芸産地の拡大・体制整備に向けた戦略策定を支援
・戦略に基づく産地拡大に必要な機械・施設などの整備を支援

○気候変動に適應した生産体制の強化を図ります
・園芸作物では、夏期高温下の苗生産技術などの安定生産技術の実証
・園芸作物では、夏期高温下の苗生産技術などの安定生産技術の実証

○スマート農業を一層推進します
・農業者や関係団体への最新情報の発信を一層強化
・農業者、民間企業等とともに、省力で高収益な水田農業の技術体系を確立するため実証研究を実施

○近江牛の振興を図ります
・キャトルステーションを活用し、飼育頭数の増加を支援
・G i 近江牛の生産・流通体制を整備し、ブランド力の向上を支援

○土地改良事業を着実に推進します
・暗渠排水の整備等による汎用化を実施
・生産コストの削減や高収益作物への転換に資する農地の大区画化
・「防災・減災・国土強靱化のための3か年緊急対策を最大限活用しつつ、地域農業を下支えする農業水利施設等の保全更新対策や、農村地域の暮らしの安全・安心を確保する防災減災対策を確実に実施



琵琶湖大橋にETC導入を提唱し実現。



看護連盟東近江地区支部の皆様と。



ありむら国俊農政報告会。(ホテルニューオウミ)



ありむら国俊農政報告会。(ホテルニューオウミ)

ありむら国俊 プロフィール(経歴)

昭和39年11月生まれ。たつ年(54歳)
滋賀県立八日市高等学校、桜美林大学経済学部卒。
(株)荏原製作所(東京営業本部主任)。
平成15年~平成23年 近江八幡市議会議員(2期)、市議会副議長。自民党滋賀県連青年局長。
平成23年~現在 滋賀県議会議員(2期)、文教・警察常任委員長、文化・スポーツ対策特別委員長。自民党組織委員長、自民党岡山支部長、法人代表役員。

